

株式会社 市川工務店 名古屋支社

株式会社 市川工務店 名古屋支社 環境報告書 2009

建設業とは、環境を大きく変えうる事業です。最近では、森林伐採・都市化によるヒートアイランド現象・石綿被害問題など、悪い面ばかりが注目を浴びていますが、都市整備による利便化・環境負荷低減措置・ユニバーサルデザインなど、良い面も多くあります。

私たちはこの建設業に携わるものとして、業界の継続と発展、そして未来の社会のために環境問題は避けては通れないものと考えています。

この報告書は、建設業の業務と環境との関わりから、その中で当社が行っている対策と今後の計画を簡単にまとめたものとなっています。

平成 22 年 3 月

株式会社 市川工務店 名古屋支社



< 環境への取組み例 >

オフィス活動中での取組み

省エネ（電気）促進

- ・ 不要電灯の消灯
- ・ H f 蛍光管の利用促進
- ・ クールビズ（夏季）・ウォームビズ（冬季）の啓発
- ・ 冷暖房温度を控えめに設定（夏季：28 、冬期：20 ）

掲示物や社内での打合せ時を利用して周知徹底を図っています。

省資源化

- ・ 両面印刷・裏紙利用によるOA用紙削減
- ・ 使用済み封筒を社内での書類伝達に使用
- ・ ペーパーレス化の促進（電子掲示板・社内メールの活用）

排出削減

- ・ 資源回収の為、分別ボックスを設置
- ・ 地域の廃品回収の活用（月一回）

節水の取組み

- ・ 節水の呼びかけ
- ・ 節水こまの設置

グリーン購入

- ・ 独自にグリーン購入ガイドラインの策定（別表１）

施工活動の中での環境負荷の低減活動・環境保全対策

騒音・振動防止活動（事前届出の徹底）

水質汚濁防止活動

粉じん防止活動（解体作業時の散水等）

地球温暖化防止活動（燃費管理、エコドライブ促進）

飛散防止対策（汚泥・粉じん等）

廃棄物削減（４Ｒ）活動（リース品活用、省エネ・省資源活動、グリーン購入）

社会貢献活動

清掃活動（仲ノ町公園清掃ボランティア・・・中土木事務所へ事前申請）

植樹活動（カンチ安食の森活動・・・定期的な社有地の植樹・保全活動）

環境教育・環境啓発

環境教育（社内報での環境についての連載記事）

市の環境施策への協力（名チャリの利用等）

< 今後の活動方針 >

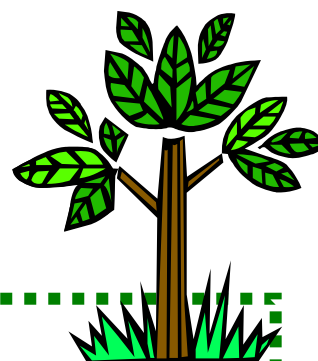
- ・ 電力、廃棄物、紙、自動車燃料、ガス、水道などの使用データ集計
集計データを元に削減目標の策定、結果報告
- ・ 節水の取組みとして、雨水利用の導入の検討
- ・ 環境教育の充実
- ・ 社用車を低排出ガス車へ切り替え（リース満了のものから随時）

別表 1

グリーン購入ガイドライン

	品 目	購入基準		
用紙・封筒類	コピー用紙	古紙配合率 100% 白色度 70% 程度		
		環境に配慮したパルプを使用したもの		
	封筒	クラフト封筒	古紙配合率 100% 以上	
		白色封筒 (窓付き封筒)	古紙配合率 30% 以上	
衛生用紙	トイレットペーパー	古紙配合率 100% (牛乳パック利用等)		
	ティッシュペーパー	古紙配合率 100% (牛乳パック利用等)		
衣料品等	作業服	再生材利用 (再生 P E T 50%)		
文房具	ノート	古紙配合率 中紙 70% 白色度 70% 程度		
	レポート用紙	古紙配合率 70% 白色度 70% 程度		
	付箋紙	古紙配合率 100% 溶解して再資源化可能なもの		
	インデックス	古紙配合率 100% 溶解して再資源化可能なもの		
	とじ穴補修パッチ	古紙配合率 100%		
	フォルダー	古紙配合率 100%		
	フラットファイル	古紙配合率 100% 綴じ具と表紙が分別廃棄可能なもの		
	パイプ式ファイル	表紙心材古紙配合率 100% 又は再生樹脂割合 40% 以上 表紙と止具分別可能なもの		
	透明ポケット式ファイル	再生樹脂割合 表紙 100%、ポケット 70% 以上		
	修正テープ	詰め替え式又は容器が再生樹脂製		
	粘着テープ	クラフト紙	本体古紙配合率 40% 以上 溶解して再資源化可能なもの	
		布	本体再生樹脂製	
	鉛筆	軸が古紙又は端材製		
	蛍光ペン	詰め替え式又は軸・キャップが再生樹脂製		
シャープペンシル	軸が再生樹脂製			
シャープ替え芯	ケースが再生樹脂製又は古紙製			

文房具 (続き)	ボールペン	軸・キャップが再生樹脂製
	油性マーカー	軸・キャップが再生樹脂製
	ホワイトボードマーカー	軸・キャップが再生樹脂製
	固形のり	詰め替え式又は軸・キャップが再生樹脂製
	消しゴム	スチレン系合成ゴム製又は天然ゴム製
	朱肉・スタンプ台	本体容器が再生樹脂製
OA機器	トナーカートリッジ	再生カートリッジであること
照明	蛍光管	省電力型 (H f 蛍光管等) であること



この環境報告書についてのお問合せ先

・株式会社 市川工務店 名古屋支社
〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目 26 番 1 号
電話 : (052) 201-3711 Fax : (052) 201-3713

(本社)

・株式会社 市川工務店
〒500-8518 岐阜県岐阜市鹿島町 6 丁目 27 番地
電話 : (058)251-2240 (代)
URL : [http:// www.ic-group.co.jp/](http://www.ic-group.co.jp/)